

若者会議事業について

1 経過・実施予定

(1) 令和7年度開催 メンバー数：12名（令和6年度継続メンバー：2名）

第1回	日 程	R7.5.31(土) 10:00~12:00	参加者	6名
	<p>若者会議で取組んできたこと、今後期待すること</p> <p>①「木津川市のCute!なところ」について各自付箋に記入し発表</p> <p>②「木津川市にあったら良いモノ、イベント」について各自A4用紙に記入し発表</p>			
第2回	日 程	R7.6.29(日) 10:00~12:00	参加者	6名
	<p>①「木津川市のCute!なところ」について各自付箋に記入し発表</p> <p>②「木津川市にCute!なこと」と「やってみたいこと」を組み合わせ、ワークシートに記入。他の人の気づきも確認しながら、そこから企画に繋がるようなアイデア出しを行う。</p>			
第3回	日 程	R7.7.26(土) 10:00~12:00	参加者	6名
	<p>①「木津川市のCute!なこと」と「やってみたいこと」を組み合わせ、ワークシートに記入。</p> <p>②「こんな企画がやってみたい」についてワークシートに記入。各自ワークシートに記入した内容を発表し、気になるプロジェクト候補の選出を行う。</p> <p>これを共有し「誰をターゲット」とし、「いつ」・「場所」・「企画内容」を考え、具体的なイメージを膨らせてみる。自分たちが実際に活動する企画を目指す。</p>			
第4回	日 程	R7.8.23(土) 10:00~12:00	参加者	8名
	<p>①前回に引き続き、「こんな企画がやってみたい」をアップデートするアイデアをそれぞれ出し合った。</p> <p>②企画・アイデアに対し、「こんなことをやったら良いのでは?」「こんなこともできるのでは?」など、企画・アイデアを膨らませる意見を話し合った。</p> <p>→「水鉄砲大会」を軸に企画案を固めていくことにした。</p> <p>③次回開催が10月となるため、若者メンバーで集まり企画・アイデアを深めていけるよう促し、メンバー内での役割分担を決定。</p>			
第5回	日 程	R7.10.26(土) 10:00~12:00	参加者	8名
	<p>①イベント企画の内容、コンセプトなどをワークシートに沿って話し合い、付箋でポストिंगを行いつつ、企画書政策のためのブラッシュアップを行った。</p> <p>②次回（最終回）の企画提案に向けたプレゼンテーションを行うにあたって、どのように進めていくかを確認した。</p>			

第6回	日 程	R7. 11. 29(土) 10:00～12:00	参加者	8名
	<p>①これまでの活動の振り返り ワークショップやミーティングにより、昨年度完成したメッセージに基づく具体的な企画提案をメンバーが主体性を持って進めていくことを確認した。</p> <p>②企画プレゼンテーション（第6回） 企画案のプレゼンテーションを市長に対し実施し、コメントやフィードバックを受けた。実施に対しては、素晴らしいとの好評を得ることができ、次年度に向け準備を進めるにあたっては、若者メンバー自身も会議の場だけでなく自主的に集まる予定を話し合うなど意気込んでいた。 若者メンバーが会議の場だけでなく自主的に集まり、活動の展開が期待される機会の創出ができた。</p>			

(2) 令和6年度開催（計4回開催）

・メンバー数：9名

全4回の開催で個人・グループディスカッションを繰り返し、シビックプライドメッセージ Cute!とロゴマーク、活用ロゴ「…/チカラ」を策定・決定。

(3) 令和5年度プレ開催（R6.2.4(日)）

- 〔午前：市内在住6名（高校生）
- 〔午後：5名（大学生・社会人）

「木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定時の市民アンケート結果を基に、市長と各参加者で意見交換。



2 シビックプライド・メッセージについて

令和6年度の若者会議において、若者会議で話し合い決定した企画・アイデアについて、個々にシンボル化し印象付けるため「…/チカラ」のロゴマークを決定。併せて、かつて旧都があった、キュートな魅力あふれる場所「木津川」で若者が集い、企画・アイデアを創る場という意味を込めてシビックプライド・メッセージ「Cute! -Cute city, KIZUGAWA-」とロゴマークを決定。

3 若者会議の進め方

ファシリテーター松田氏（木津川市クリエイター部）の進行、解説によりメンバー（グループ、個人、全体）のディスカッションを実施。グラフィックレコーダーの大道レイチェル氏が討議内容を毎回イラストと文字で作画し、討議経過を確認しつつ進行している。

企画・アイデアは、若者会議メンバーにより Instagram で拡散する予定。